



Rotary



東京八王子西
ロータリークラブ

Report

2018~2019 No.6 平成30年10月19日

●会長標語

会長 峰尾 孚

温故知新が変化を生む

今週のプログラム

- 第2529回(10/19)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*会員卓話 菊池功会員

テーマ：東日本大震災後7年経った現在の福島について

次回のプログラム

- 第2530回(10/26)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓話 八王子市保健所長 原田美江子様
テーマ：八王子市の保健行政について(仮)

今年度の国際ロータリークラブ会長は、バリー・ラシンさんとおっしゃいます。バリー・ラシンRI会長はカリブ海にうかがふ美しい島バハマのご出身でいらつしゃいます。そして、イーストナッソーロータリークラブの会員でいらつしゃいますが、ナッソーはバハマの首都でございます。そのバリー・ラシンRI会長が掲げられている今年度のRIテーマは、もう皆さんよくご存じだと思いが、『インスピレーションになろう』(BE THE INSPIRATION)でございます。短いがでしよう、このテーマ。短いですが、言いやすい、覚えやすいとおっしゃる方もい



ガバナー卓話「インスピレーションになろう」

らつしゃいますが、少し説明をしておきたいと思いが。

「インスピレーション」は、日常よく使うカタカナ日本語だと言えらると思いが、瞑想とか、ひらめきとかそういうことで使っていて、何かいい考えがうかんだとき「インスピレーションがわいた」などと言いますけれども、ここでいう「インスピレーション」とは周囲をインスパイアできる存在(人)になろう、ということですね。「インスパイア」というのは、周りの人たちが魅力的にさせる、勇気づけて、そうだとおっしゃる思いにさせるというのが「インスパイアさせる」という意味です。インスピレーションというのは、そういうことができる存在になりましようというのが、このテーマの持っている意味となります。バリー・ラシン会長はロータリーが奉仕活動することを通して国際社会・地域社会にインスピレーションを与える存在になろうと強く訴えていらつしゃいます。

ポリオ撲滅へあと一歩

では次に、今年度、RI会長は優先事項を掲げていらつしゃいます。まず、ポリオ撲滅への支援でございます。皆様もご存じ

のとおり、ロータリーは長年に渡って熱心に取り組んできたプログラムでございます。撲滅まであと一歩と言われてもう何年もたっている気がいたします。99.9%になっているけれども、100%になっていないのが現実でございます。30年前に比べると、もう激減をしているんですけど、今年も2018年にはいつから9月末まで、18名の患者がアフガニスタン、パキスタンにでているということなんです。この数字0にしてしまいたい、せつかく小さくなった数字がまた少しづつ大きくなつていってしまうということで、これまでの努力が水の泡になってしまいます。この最後の一步というのは、マンパワーも必要です、またお金もかかるというふうに聞いております。経口ワクチンではなく、注射によるワクチン、それはコストがかかる。そういうことで、最後の最後のところで皆様の支援が必要という事でございます。それで2750地区といたしまして、今年度はぜひ、ポリオ撲滅への支援を優先事項にしていこうという事で、一人のロータリアンが30\$の寄付を目標にしていきたいと思います。

ロータリークラブは地元社会への支援をその基本としていますが、一方で世界の500以上の国にロータリークラブがございます。そして日本には3万人以上いるロータリアンと共に手を組んで、この意義ある事業に取り組む、そこに参加できるというのをもまた、このグローバルな空気の一人となつての喜びなのではないでしょうか。

ロータリーデー開催

それではもう一つRI会長が今年度ぜひにとおっしゃっていることに、ロータリーデーの開催があります。今年度は、地区でも、それからロータリークラブでも、ぜひロータリーデーをということをおつしゃっております。

ロータリーデーの目的は、地元社会の方々にロータリークラブの存在を知ってもらおうという、そしてロータリーが何をしているのかを知っていただくということでございます。その内容はそれぞれクラブや地区で考えてよろしいという事で、スポーツのイベント、音楽、活動を紹介する展示など、今年度都内のクラブでもロータリーデーを企画しているところが多くございます。そして、1回は地区内のロータリアン

2018年10月5日(金)

が全員集合して、このロータリーデーを開こうではないかということにいたしました。来年の5月の12日の月曜日、朝から晩まで1日を使ってロータリーデーを開催しようということになっております。場所は赤坂アークヒルズカザン広場と、サントリールホールの2つを使っています。小ホールではコンサートや、小学生のスピーチ大会。広場にはブースを設けて、クラブの皆さんのアイデアで計画をすすめているところです。子どものための企画も用意していますので、皆さん、ぜひご友人・ご家族お誘いあわせの上、参加されてみてはいかがでしょうか？

インスピレーション になろう

ただいま、RI会長の方針というところでお話をしてみました。地区の方針のお話をしたいと思いません。地区では、つながりを強化していきたいということを大切にしていきたいと考えております。このつながりというのは、会員と会員とのつながり、会員とクラブとのつながり、クラブと地区とのつながり、会員と地区とのつながり、そして、クラブと地域社会とのつながりを強いのしていきたい、距離を縮めたいと思っております。つながっていてこそ、お互い

のコミュニケーションができて、今年度の「インスピレーションになろう」という目標にありますように、インスパイアしあえるものと思っております。地区と皆さんのクラブとの距離をできるだけ縮めるにはどうしたらよいかと考えまして、まずホームページの充実を考えました。皆さんがたびたびホームページを見て、だんだんどんな人間かわかる、そういうものを目指して、本年度もホームページの充実を目指して取り組んでいるところでございます。また、日々気軽にホームページを見ていただけるように、アプリケーション化をいたしました。スマホからダウンロードしていただければ、簡単にアクセスできます。ダウンロードされた方、まだの方も、ぜひ活用していただきたいと思えます。また、インターネットがこれだけ普及している時代ではありますけれども、紙の媒体の力も捨てがたいもの、大きいものがあると考えておりまして、こちらもガバナリー月信特別号を7月に皆さんに配布させていただきました。みなさん、受け取っていただけましたでしょうか。内容は、99のクラブの特徴、何をしているのか、また1年間のスケジュールなど内容がぎゅっしりつまったもので、これを読めば2750地区がわかる！といったものになっておりますの

で、ぜひ目につくところにおいてください。会社の机の上、リビング、カバンの中、目にしたときにパラパラッと見てくだされば、1年間使っていただけけるうちに地区のことがよりわかるかと思えます。

それと同好会というのがございますけれども、どのロータリーの方も参加できる、クラブとして作ったものがいくつかがございます。ジャズ、歌舞伎、世界の音楽を楽しむ会など、いずれ皆様にお知らせして呼びかけていきたいと思っております。ぜひ、ご参加ください。趣味を通じて、ロータリーの広がりを楽しんでいただけたらと思います。

さて、「インスピレーションになろう」という本年度のテーマをうけて、地区内99のクラブにはぜひインスピレーションになっていただきたい、インスピレーションになれるクラブになっていただきたいと思っております。それは、クラブ会員の基盤をしっかりとさせていかなければなりません。会員の基盤と申しますと、各地区いろいろな状況がございますけれども、会員の増強ということが大切になってまいります。本年度はクラブとして目標を掲げまして、それを実現することを支援するというものを各地区の目標とすることいたしました。東京八王子西ロータ

リークラブとしては、10名を目標です。また、八王子南ロータリークラブとしては、2名ということになり、2750地区全体といたしましては、439名の増強を実現するということを参考までに申し上げたいとおもいます。増強ということはもちろん重要なことではございますが、それは入会する方の数ということではなく、それ以上に大事なことは今いる皆さんがずっとクラブとつながっているということでございます。どうぞ会場の皆様全体での支援をよろしく願っています。

それではここで、少しむかしむかしのお話をしたいと思います。1905年、2月23日にアメリカで弁護士ポール・ハリス氏をはじめとするそれぞれ異なる職業を持つ人間が集まって会議をひらいて、それがロータリーの始まりといわれております。そして、それから力をあわせてロータリーを発展させてきた、私も皆さんもそういうふうにしてきたことと思えます。しかし、実はそうではなかった。ガスターバ・ロアという鉱山技師は、実はその後数年で退会しており、ハイルム・ショーレーという洋服の仕立て屋は、2回のみ出席というところで、やはり会員増強と維持の必要性というのは、古来より変わらないようでございます。

す。しかし、ポール・ハリスという弁護士と、シルベスター・シールという石炭商はその後ほとんどロータリーを発展させていくんですね。創設より会員数は10月には30名、さらに1年後には約80名になっており、1908年には2つ目のロータリーがカリフォルニアのサンフランシスコに、そしてアメリカ全土をはじめ、アジア、ヨーロッパ、オーストラリア、アフリカと世界中に次々に設立されていきました。そして、20年後にはクラブ数はおよそ2000に。会員数は11万人になっております。どうしてここまでロータリーは大きくなったのでしょうか。その頃会員は、「ロータリークラブは世界のどんなクラブとも違う素晴らしいものである」と心から信じていた。クラブに本当に満足していた。そしてそのことを自分一人ではなく、友人・知人に伝える。本当によかった！という心からの満足を、友人・知人に語った。それを聞いた友人・知人が、そこまで言うならと入会し、そこでまた満足し、周囲に語る。この繰り返しで、こんなにもロータリーが大きくなった、発展できた、ということなんです。

では、ロータリーのどこに満足したのか。ロータリーではたくさん素晴らしい人と出会える、信頼できる仲間がいる。それから、仲間とともに奉仕活動をし、社

会の役に立てる。そしてこの3つ目がロータリーらしいなと思うんですけれど、今の自己よりより良い自己を目指す、そういう集団にあるということ。常に自己研磨して目指す。それは会社にあつても、家庭にあつても、常に他人の立場に立つ、思いやれる、そういう倫理観を大切にしてお互いを高めあつていくという仲間がいる。そこに満足をしたということ。今や113年がたとうとしておりますが、それは今も変わることのないロータリーの信念ではないでしょうか。現在、社会も大きく変化をいたしました、価値観も変わってきております。そんな中、ロータリーは今も伝統を大切にしながらも、今の時代に息を吐いているロータリークラブであり続ける必要があるのです。

新しいビジョン声明

今年1月、バリー・ラシンRI会長はRI国際協議会において、新しいビジョン声明を発表しています。

「私たちロータリアンは、世界で地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合つて行動する世界を目指しています。」

この自分自身の中でという

ころが大切になってくるかと思えます。このビジョン声明を受けてまして、私たちRI第2750地区では、7月に新しい戦略計画ビジョンを発表いたしました。

「地区は、地区内のロータリークラブが、ロータリーの理念、目的を理解し、ロータリーの規則を守つたうえで、伝統を大切にしつつ時代に沿つて、それぞれの個性あるビジョンを持ち、多様性と活気にあふれ、地域社会、グローバル社会により変化をもたらす行動ができるよう支援する。」

それぞれのロータリークラブが常に活気があり、魅力があり、元気である、そのためにはいろいろと考えていかなければならないことも多くございます。この声明の中にありますように、多様性というのはひとつのキーワードであります。それぞれのロータリークラブは、自分たちは何を大切にするのか、それぞれがその

特色・魅力がどこにあるのか、よく考えて、それをどんどん強く大きなものにしていく。持続性を持つて、クラブの皆さんが共通認識を持つて、私たちはこういうことを目指しているのだというところで進んでいくのが大事だと思えます。これからはそれぞれのロータリークラブが個性を持つ時代になつてくるのかなと思えますが、その多様性の中で大事なことは、お互いを認め合

うことではないか、ときには、自分たちとは違うなと思えるクラブから何かを学ぶ柔軟性を持つことも大事になつてくるかと思えます。ひとつのクラブの中で考えたときにも、この多様性ということがキーワードとなつてくるのかなと思えます。いろんな世代、そして今は女性会員の方も増えており、こうしたバックグラウンドの違う会員たちがともに集う多様性の素晴らしさ、本当の意味でコミュニケーションをとる、お互いを知り合い、互いに刺激を受け、成長する。そういうところで多様性の意味が出てくるのではないのでしょうか。

こうした会員基盤をしっかりと築いたうえで、奉仕活動をしていくわけですが、今日は奉仕活動についてお話をする時間はないのですが、まず行動していく、その奉仕の尊さ、また寄付とすると、これも尊い奉仕活動であります。アーチ・C・クラブという、財団を作つて世界に良いことをしようとした方が残した言葉を紹介したいと思います。

『金だけではたいしたことではない。個人の奉仕は金がなければ無力である。この2つが組み合わされば、文明は天の恵みとなることができる』というものであります。

本日は、ありがとうございます。した。

十月三祝

神無月 (かんなづき)
 誕生石 菊 コスモス リンドウ
 オパール



会員誕生祝

峰尾 孚 74回
 安藤 謙治 73回
 萩原 照久 68回
 諸星 宗幸 64回
 小林 潔正 60回 (還暦)
 橋本 孝 57回
 畑山 浩司 55回
 井草 一寿 54回
 石岡 祐司 54回
 佐藤 永一 52回
 原 啓一郎 49回
 立花 探 47回
 岸田 功典 44回

会員令夫人誕生祝

宮澤 芳子様
 大田 明子様
 中村 恵子様
 鳥羽 恵美様
 小林 里花様
 塩野 明美様
 佐藤 絵里様
 追川 京子様

結婚記念祝

竹松 健 64回
 石田 初雄 52回
 城所 正雄 50回 (還暦)
 福山 眞吾 49回
 黒須 隆一 48回
 峰尾 孚 45回
 大石 創元 42回
 笠井 豊 32回
 井上 知巳 25回 (銀婚式)

(順不同 会員敬称略)

卓話「SDGs 世界を変えるための17の目標」

2018年10月12日(金)



JCI JAPAN 少年少女国連大使
青田未陸さん

まず最初に、少年少女国連大使とは世界の大きな課題と向き合う小中高生30人からなる団体であり、国連本部に行き、SDGsをより深く知り、見て、考えて学び、その解決策を考え実行することを重要な目的としています。開発途上国と先進国の両方に行き、違いを発見し、それを自分の言葉で伝えていくことも重要なことです。

SDGsとは、持続可能な開発目標であり、17のグローバル目標と169のターゲットからできています。国連サミットで採択されたもので、「誰一人取り残さない」ことを理念としています。

私は、SDGsの2番の飢餓について考えたいと思います。まずは、私たちが当たり前前に食べ物を食べたり、いらなければ捨てるという行為を行っています。

しかし、そういった小さなことが、大きな契機を与えていることを知ってほしかったからです。次に飢餓の現状について説明します。世界で栄養不足で苦しんでいる人は、約8億1500万人おり、飢餓や飢餓に関連した死因で亡くなっている人は、約2万5000人いるといわれています。この2万5000人のうち4分の3は、5歳未満の子供で、5秒に1人の割合で子供たちが亡くなっているそうです。次の図を見てください。これは、世界の飢餓状況をあらわしたものです。濃い赤色は、栄養不足の人口の割合が非常に高いことを示しています。赤色は高い、オレンジ色はやや高い、黄色はやや低い、黄緑色は非常に低いとなっています。この図から、アフリカや、中国、インドにも飢餓が多いことがわかります。アフリカは栄養不足による飢餓ですが、中国は人口が多いために多少の食糧不足となつていきます。次の写真を見てください。これは、フィリピンのバセコ地区で撮られた写真です。フィリピンでは、道路や海にゴミが捨てられています。もしそのゴミを魚や動物たちが食べたなら、病気になってしまいます。その動物や魚を食べた人間にも影響

を及ぼします。また海はゴミによつて水質汚濁に、陸は大気汚染によつて、人間にも食物にも害があります。これらは最終的に人身に影響を及ぼします。では、飢餓はなぜ起るのでしょうか。世界に食べ物足りないから？、働かないからなのでしょう。か。いいえ、それは違います。世界では約25億トンの穀物が生産されており、もしこれが世界に約73億人に平等に分配されれば、1人当たり年間340キログラム以上食べられることになり。しかし、貧困の国に食べ物が行かない現状があります。また、仕事があつても、差別にあつて働けなかつたり、国が貧しく働きたくても仕事がないため、食べ物を買うことができず、食料を他の気候変動により、農地がなくなり、砂漠化したり、水害により水面が上昇し、食糧が作れない状況にもなつていきます。また、内戦などが起ると経済が止まつてしまい、輸出入が不可能となり、食物を運ぶ交通手段がなくなつてしまいます。それにより食糧が行き届かなくなつてしまいます。なお、食糧価格に關していうと、穀物などの食糧は、牛や豚などの家畜のえさに利用され、食糧の

価格が高騰し、世界的な食糧危機が起つたことで、食糧を安定して確保することの不安がつつていきます。次に他の目標との関連性について話したいと思っています。SDGsの2番の飢餓は、6番の「安全な水とトイレを世界中に」と14番の「海の豊かさを守ろう」と、15番の「陸の豊かさを守ろう」、に關連していると思います。まず、安全できれいな水があれば、飲み水にもなり、トイレに關しては、下水の設備を整えることで、海がきれいになり、安全な魚を食べることができ。また、安全できれいな水があれば、安全な食糧を作ることもできます。海はすべての国をつないでいるので、例えば、日本の海でゴミを捨てた場合、他の国の海にたどり着いて、可能性が。あります。なので、水の問題はその国だけの問題ではなく、私たちすべての人に關連している問題でもあります。次に解決策です。解決策は、国ができることと、私ができることと、2つにわけることができ。まず、第一に国ができること。一つ目は、食糧援助をすることです。しかし、食糧援助は、その場の一定の人しか救うことができ。ません。だから、根本的な解

決策にはなりません。食糧援助をすることに加え、国は国民に食べ物を1から作るように教えます。そのために土壌を改善することも必要です。これが2つ目です。3つ目は、彼らの作った食べ物で、食べ物を売って、お金を流通させることです。お金を稼いで流通させることで、より発展できると思います。これら3つが私が考える国ができることです。次に私ができること。私ができることは、積極的にボランティアに参加し、募金をすることです。しかし、飢餓を一人で解決することはできません。だから、私はみんなに寄付やボランティアに参加してもらいたいです。人が集まれば、一人では解決できないことも解決できるので、協力しあう環境を作り、飢餓という大きな問題を解決する第一歩となると思います。最後に仕事をする場を与えることに關していうと、例えば、物を作る機会と作り方を教えることにより、ただ、物を与えることよりも、自ら物を作ることで、技術力が発展し、その国の技術力も発展すると思います。こういった、私たちにはたくさんできることがあります。しかし、一番重要なことは、関心を持つこと、持つてもらう事だと思っています。世界には関心を持つ人が行動に移さない人がたくさんいます。

例会報告

第2527回●2018・10・5(金)

◇司会 倉田 正会場監督

◇開会点鐘

峰尾孚東京八王子西RC会長

◇君が代斉唱

ソングリーダー岡本信之会員

◇Rソング 奉仕の理想

◇お客様のご紹介 峰尾会長

国際ロータリー第2750地区

服部陽子ガバナー

森屋義政ガバナー補佐

加藤高白地区幹事

坂本光右グループ幹事

坂本俊雄諮問委員会・指名

委員会委員／バギオ基金ア

ドバイザー

松村一公青少年奉仕委員会

RYLA委員会委員

小澤春美ロータリー財団委

員会補助金委員会委員

東京八王子西RC新会員

門倉 裕(敬称略)

◇食事と交歓 洋食

◇出席報告・ニコニコ発表

竹松健出席財務委員

(東京八王子西RC)

会員113名中79名出席。

出席率75・96%。前々回9月

21日の出席率74・76%を86・

41%をに修正します。

◇出席報告

藤原忠房クラブ管理運営委

員長(東京八王子南RC)

◇ニコニコ発表

藤本政史親睦委員長(東京八王子南RC)
◇会長挨拶 峰尾 孚会長
東京八王子西RC会長



会長挨拶 / 峰尾 孚会長

*本日は服部ガバナーをお迎えして卓話をしていただきます。時間の都合上会長挨拶は割愛させていただきます。

◇会長挨拶 森田貢士

東京八王子南RC会長

*先ほど服部ガバナーと有意義な懇談ができました。スマート

で情熱あふれる服部ガバナーの卓話をお楽しみください。

◇幹事報告 なし

◇ポールハリスソサエティー

認定状等贈呈



服部ガバナーより三浦眞一
東京八王子西RC会員へ
◇東京八王子西RC
新会員入会式

紹介者・榎崎 博会員
新会員・門倉 裕 会員

◇スピーカー紹介

峰尾孚東京八王子西RC会長

卓話講師

国際ロータリー第2750地区 服部陽子ガバナー

テーマ

「インスピレーションになろう」

◇閉会点鐘 森田貢士東京八

王子南RC会長

例会報告

第2528回●2018・10・12(金)

◇司会 角田会場監督補佐

◇開会点鐘 峰尾 孚会長

◇Rソング 我らの生業

◇お客様のご紹介 峰尾会長

少年少女国連大使

青田未陸様

八王子青年会議所

副理事長 鹿山剛央様

◇食事と交歓 中華

◇出席報告・ニコニコ発表

杉本勝義出席財務委員

会員113名中71名出席。

出席率68・27%。前々回9月

28日の出席率73・79%を79・

61%をに修正します。

◇会長挨拶 峰尾 孚会長

*今日は何の日か調べたところ、

1492年コンパスがサン・サルバドル島を発見した日であり、1694年松尾芭蕉が50歳で亡くなった日でありました。また、利根川進博士にノーベル医学生理学賞の授与が決まった日でもあります。

*過日のガバナー公式訪問の懇談会で課題をいただきました。後任支店長が女性の場合どうしますか?とのことでした。これから考えていかないといけないと感じた次第です。

◇幹事報告 小沢孝志幹事

*11/7ポリオ撲滅チャレティオンサートがあります。再度のご案内ですが、詳しくは事務局までお問い合わせください。

*東京山王RCより5周年記念例会のご案内がありました。こちらも事務局に資料が

ございます。

*本日の例会終了後全員協議会があります。

◇三祝

会員誕生祝 原啓一郎・峰尾孚・岸田功典・井草一寿・橋本孝・萩原照久・立花探・小林潔正・石岡祐司・安藤謙治・畑山浩司・佐藤水一・諸星宗幸(順不同・会員敬称略)

会員令夫人誕生祝 宮澤芳子様・大田明子様・中村恵子様・鳥羽恵美様・小林里花様・塩野明美様・佐藤絵里様・追川京子様

結婚記念祝 大石創元・笠井豊・井上知巳・黒須隆一・福山眞吾・竹松健・石田初雄・城所正雄・峰尾孚(順不同・会員敬称略)

◇スピーカー紹介 蔵本健プログラム委員長

JCI JAPAN

少年少女国連大使 青田未陸氏

テーマ・SDGs 世界を変えるための17の目標

◇閉会点鐘 峰尾 孚会長

全員協議会

◇ガバナー候補に三浦眞一会員を推薦する件承認

東京八王子西ロータリークラブ
東京都八王子市旭町 14 番 1 号
京王プラザホテル八王子 8F 〒192-0083
TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753
http://www.hachioji-west-rc.org

会長 峰尾 孚 幹事 小沢孝志
広報委員会 原 巖 青木清治 平野智彦 土岐静雄
大田吉彦 浅川立憲 小林孝行



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを拡げよう : www.rotary.org